



2017年2月

第260号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 中塚 辰生
副会長 小口 多津子 多河 敏子
書記 久保田 貞視 小口 多津子
会計 長谷川 あや子
林外会長 並木 雍子
担当主事 中里 敦
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 清 多河 敏子
直前会長 長谷川 あや子

国際会長主題 Joan Wilson(カナダ) 「私たちの未来は、今日より始まる」
スローガン: 「手を取り合えば、もっと多くのことができる」
アジア地域会長主題 Tung Ming Hsiao (台湾) 「ワイズ運動を尊重しよう」
スローガン: 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」
東日本区理事主題 利根川 恵子 (川越) 「明日に向かって、今日動こう」
スローガン: 「手を取り合って、今、行動を！」
あずさ部部長主題 浅羽 俊一郎 「あずさ部は財物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
クラブ会長主題 中塚 辰生 「クラブ活性化に全員が一歩前進」

2017年2月 第一例会 メネット・TOF例会

(大久保重子 久保田佐和子 佐藤正子 辻 久子 中里孝子
仲田節子 並木雍子 松本郷実 眞野みつ子 茂木洋子)
日時: 2017年2月25日(土) 18:00~20:00
場所: 八王子市役所北野事務所 2階大会議室

受付: 大久保メネット、久保田メネット

司会: 並木メネット

開会点鐘	会長
ワイズソング	一同
ワイズの信条	一同
ゲスト・ビジター紹介	会長
TOF例会の主旨紹介	久保田メネット
聖書朗読・感謝の祈り	辻メネット
会食(おにぎり)	一同
(会食中に各担当者 報告・連絡事項)	
卓話「子どもに居場所を」	秋田 正人氏
(東京YMCAチャイルドケアセンター事業統括)	
スマイル	大久保メネット
Happy Birthday	会長
閉会点鐘	会長

巻頭言

タスキを次につないで

次期会長 小口多津子

一か月前の話になりますが、お正月の楽しみの一つに箱根駅伝があります。今年も青学の優勝で、三連覇達成という好成績で2日間が終わりました。復路になると自分でも走っているような興奮に包まれてしまいました。テレビの中、そこにあるドラマの数々に釘付けでした。走者が区間のゴールまであと少しという時、待っている次の仲間が見えてくると、たすきを肩から外して手に握りしめ、苦しい中で安心感もあって顔がゆるむ。そして渡した瞬間どの走者も必ず倒れ込む、倒れて地面にうつ伏せながらも、視線はそのタスキを持って先を走っていった仲間の後ろ姿を暫くじっと見つめている。そしてやっと立ち上がり、自分

先月の例会ポイント(1月)		BFポイント	
在籍	17名	切手(国内・海外)	200g
メン	13名	累計	200g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	76%	累計	0円
メネット	3名	スマイル	8,438円
ゲスト	3名	累計	51,475円
ビジター	7名		
ひつじぐも	5名	オークション	0円
		累計	0円

(聖句)

「その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。」

(ヨハネによる福音書20章19節)

の終わった責任に満たされている。この瞬間はとても胸に迫るものがあります。自分の走り終えた後、その先へと走っていく仲間の後ろ姿をじっと目の中に焼き付ける。人の一生にもこういう場面が沢山あるのではないかと思います。時には身近な家族の中でも。そしてワイズのクラブでも同じことがいつもあります。

箱根駅伝にはもう一つのドラマがあります。区間でトップの走者から20分遅れで到着したチームには、繰り上げスタートと言って到着を待たずに次をスタートさせるルールがあります。区間によっては10分というところも。着いても渡すべき仲間の選手はすでに先へと出発した後になる。走ってきて握りしめたタスキを持ったまま無念に泣き崩れるランナー。この場面は見ていて本当に辛い涙の場面です。私はタスキとは必ず次へと繋げるものであることを思いました。

八王子クラブは今年で23年目を迎えます。設立からずっと繋がれたタスキを握りしめて会長は1年を全うさせる。そうやって次々に渡してきたのだから、ここまで続いたのです。12ヶ月にわたる数々の行事や会合の中、模索あり、すれ違いありで関わり合いながらもタスキを次につなげて行くのは、一緒に走る仲間がいるからだと思います。声援を送り、水を渡してゴールで迎えてくれる仲間の大きな存在、駅伝に重ねてあらためて思いました。

在京ワイズ合同新年会に参加して（2017・1・7）

多河敏子

久しぶりに高田馬場駅で下車し歩いて20分弱、東京YMCA 山手コミュニティーセンターの会場に到着しました。第一部は一階での礼拝でした。

今回の司会は越智京子さん、奏楽は戸坂昇子さんでした。古賀博早稲田教会牧師、戸坂昇さん、東京YMCA 職員、元東京セントラルクラブ所属の手塚博昭さんをゲストにお迎えして、125名の皆さんの出席を得、新年会が盛大に始まりました。礼拝は日本基督教団早稲田教会の古賀博牧師より「虹は・・・ここにある」と題しての奨励で、死などの痛みを信仰生活にどのように受け入れるか？ ・日なたの信仰 ・暴風雨に生きる信仰、について解き明かして下さいました。

私の隣席には以前ブリテン編集をした時に何かとご指導をいただいた、東京グリーンクラブの布上征一郎さん信子さんご夫妻がお座りになり、後の席には元東日本区理事をされ、元気の出るガッツポーズがとても素晴らしかった東京江東クラブの藤井寛敏さんご夫妻がご出席でした。布上さんは私の出身地、塩釜の「浦霞」が大好きだそうで、全く知りませんでしたから、とても嬉しく思いました。新年の1月18日（水曜日）、東京北クラブとの合同例会の際、卓話者に落語家の「古今亭春輔師匠」をお招きされるとの事、私も文京区に住んでいた頃は、時々落語を聞きに行っ

た事を懐かしく思い出しました。ここ多摩地区に住んでからも、時たま上野公園近辺に出かけたことが思い出されます。

第二部懇親会は2階に場所を移し、第一部は東京たんぼクラブの藤江喜美子さんの司会で始まりました。開会点鐘と挨拶はたんぼクラブ会長の小原史奈子さんでした。東京山手クラブの尾内昌吉さんの食前感謝のあと、次期東日本区理事の栗本さん（熱海クラブ）の乾杯の音頭で会食・懇談が始まりました。みんなで「心を高くあげよ！」や「聞けや愛の言葉を」を合唱し、参加クラブの紹介とアピールの後、実行委員長の服部節子さんの感謝の言葉と小原史奈子会長の閉会挨拶と点鐘で閉会しました。

続いて第二部は、まず、廣田東京Y総主事と利根川東日本区理事から祝辞をいただきました。そのあとの礼拝献金は83,700円でした。献金額の贈呈は、東日本大震災と熊本地震復興支援として東日本区へ贈られました。用意されたいろいろのご馳走をいただき、参加者の皆さんとの懇談に花を咲かせての楽しいひとときを過ごし、閉会となりました。

近隣他クラブ訪問

東京クラブ訪問

久保田貞視

1月10日（火）18:30~より東京クラブの1月例会IBCナイトが東陽町センターで開催され、出席しましたので概略報告いたします。

まず、比奈地康晴ワイズの開会点鐘で開始しました。ワイズソング、聖書購読・祈祷の後、比奈地会長のゲストビジター紹介は、出席者が105名と多く、配布された名簿を見てほしいと各自の紹介はありませんでした。また、今月はIBCアワーでIBCの説明は大槻さんの代わりに、進藤ワイズがIBCについて説明されました。ワイズデナーの後、今日の卓話講師の前日本銀行総裁 白川方明氏（青山学院大学特任教授）が「おカネと信頼私の体験的中央銀行論」について静かな口調で始められました。

まず、問題意識「民主主義社会における中央銀行」で5年間の日銀総裁時代は激動の時代で、リーマンショック、ユーロ危機、東日本大震災、2回の政権交代・頻繁な大臣の交替に触れられ、中央銀行通貨、日銀のバランスシート（内国債残高403兆円）について報告され、日銀の役割に関する体験的感想を述べられました。中央銀行は法的独立性を有しているが自らの判断で何でもできるわけではなく、国民からの最小限のサポートが無ければ存立は難しい。これまで経済運営面で失敗はあり、その教訓として「時代の空気」を読み取る必要がある。そして中央銀行の役割は、経済の持続可能な成長を実現するのに必要な通貨を供給することであり、中長期的経済成長率を決めるのは、労働人口の増加と生産性の向上によるものであり金融政策ではない。金融政策はあくまでも環境作りであり「繋ぎ」である。職業に喩えると「医者」に近い。

続いて、中銀に必要な要素を言及、現在、日本経済では急速な少子・高齢化による潜在成長率の低下及び財政の悪化が持続可能性を脅かしている。最後に、経済は自然現象ではなく、人間の意思で変わる。デフレは日本経済の直面する問題ではなく、将来に対し自信を持っていないことに起因する問題を漠然と「デフレ」で表現している。日本経済を正しく認識することが総ての出発点であり、社会の構成員の意思によって変わり得る。と締めくくられた。終了後、質問のある方を対象に別室で様々な質疑応答が行われた。日銀の役割を理解し、将来の日本経済を考えるのに非常に参考になりました。お呼びになられてメンバーの山本ワイズには感謝申し上げます。

「日本の財政はどうなるか？」講師 花輪宗命 教授

久保田 貞視

花輪先生には、今回の卓話用に詳しいレジメを配布され概要のような卓話をしていただきました。

財政には国家財政と地方財政がある。日本の債務残高は、2016年末で国が866兆円、地方が196兆円で合計1,062兆円とGNPの205%と大きい。

舛添知事が辞め、英国がEU離脱、米国ではトランプが大統領になるなどこの1年、予想外のことが続き、世界がおかしくなっており、次の世代に良い社会を残せるか。皆が安心して暮らせるように国、地方が介入して税金を財源に



経済・文化・福祉活動を維持する必要があるが、税収は伸び悩み、公共・福祉サービスのための財源が十分でなく、国債・地方債の形で借金している。現在、一般会計予算は100兆円で、税収は60%のみで借金である国債発行は三分の一の35兆円にのぼる。国の財政を家計に喩えると給与収入月給52万円として支出は年金・医療・介護等で27万円、仕送り13万円、ローン返済20万円で生活費は僅か8万円、それに住宅、教育、防犯等が加わり、81万となり、不足の29万円は借金となる。

なぜこうなったか。バブル崩壊後、政府は景気回復に向けて公共投資の増大、社会保障費の増加など様々な手を打ったが効果がなく公債発行残高が積みあがった。GNP比での他の先進国比較では断トツに多い。

安倍首相は政権を取ってすぐに、「アベノミックスの3本の

矢」を打ち、デフレ脱却による財政再建と社会保障制度の安定化に取り組み、異次元の金融緩和と積極的な財政支出により、円安が進み、輸出産業を中心に株価は上昇し、雇用も拡大した。しかし、経済成長は足踏みで物価も予定の2%上昇には至らず、更に頼みの綱の「貿易収支」の黒字も消えている。

安倍首相は、2015年10月に発足した第3次安倍内閣で「1億総活躍社会」実現のために、アベノミックス「新3本の矢」として、「GDP600兆円」「希望出生率1.8」「介護離職ゼロ」を打ち出した。

また、「骨太の方針」として、財政赤字の削減計画を作成、一方、消費税の10%への引き上げを平成31年まで2年半延期して、平成32年までに、国と地方の「基礎的財施収支—プライマリーバランス」を黒字化し、財政健全化目標を堅持すると主張している。それに、アベノミックスの成果を生かして、少子高齢化や人口減少という構造問題に取り組む必要があると指摘しているが、これらを、あと3年で解決することは極めて困難であろう。

高尾の森わくわくビレッジ報告(2月号)

館長 佐藤 信也

ここに来てやっと冬らしい陽気となりました。高尾でも先日雪が降りました。

TW 屋上からここ数日よく晴れて屋上からの展望がきれいです。先週は富士山も隠れがちでしたが、今日は白い富士山、白い丹沢、白い南アルプスまでよく見渡せました。空気の透明度は低い湿度の証ですが、風が吹くと山は乾燥してカサカサした印象です。皆様もお身体をご自愛頂きお過ごし下さい。

さて、昨年度のTWは暖冬の影響もあり「梅」に蕾が付くほど暖かい日が続きました。地元の方から聞くところによると、高尾でもここ数年は温暖化の影響を受け続けており日本特有の四季を感じられなくなるのではないかと心配です。

1月は1,700名を越える宿泊者がありました。大学のゼミ、クラブ活動(バドミントン、卓球、バスケットボール、チアリーディングの合宿、柔道、空手、合気道、合唱団)などで幅広くご活用頂き、日帰りでは100名以上で体育室、研修室のご利用が多くみられました。また、ワイズガーデンは日照時間が少ない中、日本水仙の花が次々と蕾をつけ少しずつ開花してくれています。春が待ち遠しいですね。

尚、TWのお部屋のお布団洗濯も終わり羽根布団も新品同様ふわふわです。是非この機会にご利用下さい。宜しくお願い申し上げます。



高尾ワイズガーデンからの報告

本日、日本水仙、菜の花の生育状況を報告します。皇帝ダリアは雪により倒れてしまい大変残念ではありました。

現在、花壇にはご覧の通り日本水仙が綺麗な花が咲きました。同様に菜の花も元気に葉を伸ばしています。

だた、心配していました日照不足もあり成長過程に時間が掛かっています。

茂木さんチェックでは、良く育っており3月には西洋水仙も咲くだろう。とのコメントでした。まだまだ寒い日が続きますが、花たちも頑張っています。私たちもインフルエンザやノロウイルスに負けないように頑張りましょう。

菜の花の生育状態



20年来のお付き合い (丸尾さん)

第2回東西日本区交流会に参加して

長谷川あや子

2月4～5日、豊かな自然のなか、新しくなった東山荘本館にて第2回東西日本区交流会が開かれました。八王子クラブからは久保田さんと私の2名の参加で寂しくはありましたが、東西370名のワイズが参集し、交流会のテーマ「語ろう！未来につなぐワイズスピリットを！」を実感できた素晴らしい二日間でした。一日目の講演は日本YMCA同盟理事、中道基夫氏による「YMCAのブランディングとワイズ」でした。YMCAは歴史があり青少年のために素晴らしい活動をしているのに、外からは何をやっているのかイメージがわからないと思われる。そこで、YMCAに來ればしたい何かが見つかり、誰かと繋がり、お互いがよくなるかけがいのない場所であることを示したい。暖かいネットを作りましょう、といった内容でした。その後、おやつにラーメンを楽しみ(行列しました)、それぞれの交流プログラムへ。夕食懇親会は体育館に移動、すでにビュッフェの準備が整っていました。ビール、ワイン、食べきれないほどのご馳走が並び、甲府クラブ・丹後佳代さんの元気な司会で会場は一気に盛り上がり、あちらこちらで談笑の輪が広がりました。懇親会後はフェロウシップアワーでしたが、富士五湖クラブの望月勉さんの「雲の上の支配人、35年間」のお話があり、石巻広域クラブや御殿場クラブの皆さんと一緒に聞きました。今回、大阪セントラルの方が参加されなかったのは残念でしたが、会場で丸尾さんとお会いし、写真を撮ったり楽しいひとときを過ごしました。二日目の講演は前アジア・太平洋YMCA同盟総主事山田公平氏の「ワイズとYMCA、今後への期待」でした。ワイズとYMCAとの関係をもっと強いものにしたい。2022年はワイズ100周年を迎えるのでそのための具体的な提案を実行に移したいと力強く話されました。その後、被災地レポートがありました。東日本大震災から6年経ちますが、避難生活をされている方は全国で170,841人もいらっしゃいます。風化させてはならないと強く思いました。礼拝献金の177,750円は東日本と熊本の復興支援に用いられます。次にDBC/IBCの締結式が東西理事の立会いの下で行われ、参加者の祝福を受けました。天候にも恵まれ、実り多い二日間で沢山の頂き物をして帰って参りました。



中大・学Y便り

ワイズ例会の感想

吉田翔悟

中央大学ひつじぐもの吉田翔悟です。ワイズ例会には今回で2度目の参加になります。最初に参加した時は慣れない場での雰囲気呑まれ、良くわからないままに終わってしまいましたが、今回は例会の流れや雰囲気にも多少慣れ、以前よりも余裕をもって参加できたかと思えます。

今回の例会を振り返ってみますと、私のなかで強く印象に残ったことが2つありました。1つは花輪宗命先生の卓話です。「世界中で政治経済が我々の予想を超えた動きを見せるなか、自身が経済面で不利益を被らないようにするには現在の日本の財政の仕組みを知り、現行の財政政策がどのようなのかを理解する必要がある」という花輪先生の主張は至極正しいものであり、国と地方公共団体の財政の仕組みについての話は非常に分かりやすいものでした。特に、「アベノミクスの展開」について説明して下さったのは、そのことについて曖昧に理解をしていた私にとっては嬉しい事でした。

もう1つは、ワイズメンズクラブの皆さんが積極的に学び、活動しようとする意気にあふれていたことです。それは、花輪先生の卓話を聞いているときの相槌や、チャリティーコンサートの準備・手配の良さなどから伺い知ることができました。私は石川県出身でワイズの皆さんと同じくらいの歳の方々に囲まれて成長してきましたが、地元の方々はどちらかというと内気な方であり活発に活動をするところを見たことがありませんでした。断っておきますが、地元の方々を悪く言っているわけでは断じてありませんし、私自身が彼らの全てを網羅しているわけでもありません。ただ、私の祖父母と同じくらいの年齢の方々が今でも企画実現に向けて気鋭に働きかけている姿が私にはひどく新鮮で眩しいものに映りました。私がこのワイズ例会に参加したきっかけは先輩からの薦めによるものでした。「ワイズの皆さんは皆、色々なことを経験してきた活力あふれる方たちだから、参加してみれば翔悟もきっと良い学びになると思うよ。」その言葉は正しかったと今では思います。これからも私は予定が許す限りワイズ例会に参加したいと思っています。次回は今回よりももっと深く交流できたと望んでいます。

西東京センター便り

＜西東京YMCA便り＞

中里 敦

寒さが厳しい日が続いておりますが、西東京のリーダーもスタッフも元気に、各定例活動、まだまだ続くスキーキャンプ等に向けて準備を進めています。

西東京では様々なプログラムを行い、数多いリーダー会や色々な準備に追われたりと忙しく、大変な思いをすることもありますが、しかし、その中でも喜びを感じれることもあります。

あるプログラムは、学校や社会で生活する上でコミュニケーションなどに課題を抱えているために、YMCAのプログラムに参加している子どもたちがいます。そこでは、まずはメンバーにとって居場所になることを大切にしています。そして、少しずつ信頼関係を築き、居場所となった安心感から自分自身を少しでも出せるようになったり、自信、元気、やる気などを持ってもらえることを願っています。活動内容も訓練、練習ではなく、楽しさの中で他者との関わりや自分を表現する力を養っていきます。そのプログラムの中で、センターに来るのが楽しみで、活動開始の1時間くらい前から来るメンバーがいます。早く来て、スタッフと話したり、自分の趣味の時間として過ごすのを楽しみにしています。また、学校に通うのが苦手なメンバーが、ここが学校なら毎日来るのと言っています。他にも全員が病気以外はほぼ必ず参加してくれています。YMCAが一人ひとりの居場所となっている喜びを実感できる時でもあります。時には学校に行くことが当たり前のように感じてしまうこともあります。同時に、自分の経験にはない大人の目線でしか見ていないようにも感じます。学校に行って楽しんで欲しいという思いは持ちつつも、YMCAがすることは、学校や社会でその子らしく過ごせる時が来るように、今のメンバーのあるがままを受け止め、焦らず、じっくりと力を養ってあげることであり、そのことが、東京YMCAの使命にある、青少年の精神、知性、身体の全人的成長に寄与していくことと考えています。

(お 話)。

ローマ教皇が平和を訴えて引用された聖句です。恩師イエスが十字架にかけられたので、イエスを棄てて逃げた弟子たちは、自分たちも捕らえられるのではないかと戸に鍵をかけ、まんじりともせず縮こまっていた。そんなところに死んだはずのイエスが現れたのだ。

驚天動地の出来事というのは、このような事を言うのだろうか。鍵のかけられた部屋に、死んだはずのイエスが現れたのだ。慌てふためく弟子たちにイエスがかけられた言葉は「あなたがたに平和があるように」だったというのだ。

イエスは世界平和を唱えたのではない。目の前の弟子たちの心にイエスの平和がなくて、人類に平和があり得ないことをよくご存知だったのだ。

イスラエル人の挨拶は「シャーローム：平和」だ。日常交わす挨拶通りに、平和が世界のものとなることを祈りたい。

仲田達男

報 告

第1例会の議事録

日時：2017年1月28日（土）18：00～20：30

場所：北野事務所

出席者：（クラブメンバー敬称略）：長谷川、小口、中里、山本、中塚、辻、茂木、並木メン・メネット、望月、久保田メン・メネット、大久保メン・メネット、多河、福田（16名）

（ゲスト）花輪宗命先生、斎藤道彦先生、岡垣修武さん
（ビジター）張替滋夫さん（東京世田谷）、中澤正子さん、藤江喜美子さん（東京たんぽぽ）宮内友弥さん、大輪匡史さん、麻生由美子さん（東京武蔵野多摩）
江夏一彰さん（長野）（10名）

（ひつじぐも）2年次一須郷利貴さん、渡邊敦さん、1年次一坂本菜美さん、吉田翔悟さん、宮内蒼也さん（5名）
計31名

卓話：「日本の財政はどうなるか」講師 大東文化大学教授 花輪宗命氏 *卓話内容別添

報告・連絡事項

- ① 次期クラブ会長として小口多津子さんを選任
- ② あずさ部第2回評議会（2月11日）出席者：中塚会長、小口副会長、久保田書記、長谷川会計、山本（ブリテン編集長）5名
- ③ 中塚会長より、東日本区「前文」募集の件及び東日本区次々期理事ならびに次期監事は既に推薦済みの旨報告。
- ④ 3月11日のチャリティコンサートの打ち上げは17：00より青木屋で行う。会費は1人、3500円、学生は1500円。出来るだけ多くのご出席をお願いします。2月の第2例会まで報告のこと。（久保田）
- ⑤ 3月2日チャリティコンサート演奏者の銀座ライオンでの演奏会あり。参加者歓迎。
- ⑥ 「揚がれ希望の凧2017」の実施については検討中（小口副会長）

スマイル献金：8,438円

*これからの行事予定

2月4日（土）5日（日） 第2回東西日本区交流会開催

会場：日本YMCA同盟東山荘にて

参加者：長谷川、久保田

2月25日（土）午後6時～8時 TOF・メネット例会

会場：八王子市役所北野事務所 2階大会議室

3月4日（土） 街頭募金 八王子駅北口にて

3月4日（土）・5日（日）次期クラブ会長・部役員研修会

会場：日本YMCA同盟東山荘にて

参加者：小口（会長）、久保田（監事）、長谷川（部主査）

3月11日（土）チャリティーコンサート開催

会場：八王子市北野市民センター 8階ホール

開場：13時30分 開演：14時～16時00分

チケット：1,000円

演奏：SWING JAZZ 上村亜紀子・武田 将・山本 琢
木林真人・竹内 武

*BF2017年1月報告

切手：国内 190g（仲田、中塚、福田、山本）

海外 10g（仲田） 累計 200g

プルタブ 0kg 累計 0kg

* 老人デイサービスセンター 鍾水* ボランティア活動

【報告】1月19日（木）ペーパーフラワー14:00～15:00

参加者：赤羽、石井、色川、久保田、下重、多河、山口、山中、

【予定】ペーパーフラワー

2月16日（木） 14:00～15:00

<西東京センター 主な行事予定>

2月 14日（火）

「ボイストレーニング」@西東京センター

ボイストレーニングは、こんな方にお勧めです！

カラオケがうまくなりたいたい・楽しく健康になりたい・
認知症が心配なので予防をしたい・体脂肪を燃焼させたい。

2月 26日（日）

講演会「発達障がい児・者支援」@山手センター

年齢に応じた対人関係の困り感への支援とその実際について、早稲田大学の梅永雄二氏に講演をいただきます。◆時間：14時～16時 ◆参加費：1,000円



2月の誕生祝い
久保田 佐和子 2月 21日